

<開催概要>

- 日時: 2020年2月19日(水) 10:00~17:40
- 場所: AP東京八重洲通り (〒104-0031 東京都中央区京橋1-10-7 KPP八重洲ビル 7F)
- 参加者: 事前申込 301名(定員), 当日来場者 196名
- 話題提供: 17件 (JAXA 3件, 利用ユーザ 12件, データ配布事業 2件)

【先進光学衛星(ALOS-3)に対する期待】

ユーザの皆様から, ALOS-3に対して改めて高い期待が示された.

【議論したい点】

□ 先進光学衛星の更なる利用拡大

- ✓ もっと使いたくなるためには何が足りないか? どうすればよいか?
- ✓ 防災・災害利用 ~意思決定への貢献に向けて~
- ✓ 地理空間情報の整備・更新 ~基盤地図情報整備の海外展開に向けて~
- ✓ 民間利用の促進

- 他衛星等との複合利用: SAR/光学, 小型衛星, 物理量, UAV, 地上観測, 数値モデル…
- 観測頻度・タイミングに対する要望, プロダクトに対する要望
- 衛星の継続性

□ 先進光学衛星の更なる利用拡大: JAXAの取組み

- ✓ シミュレーション画像公開(前回ワークショップでの要望)

https://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/ALOS-3/doc/sim_jindex.htm

- ✓ 実証機会の提供(話題提供)



ALOS-3 Advanced Land Observing Satellite
ALOS利用推進研究プロジェクト

ALOSシリーズを知る | 観測センサを知る | 校正・検証 | 基本観測計画 | データを使う | 画像ギャラリー | データセット | 研究計画・関連会議

データを使う

Home > ALOS-3シミュレーション画像

ALOS-3シミュレーション画像

ALOS-3シミュレーション画像は、航空機等の高分解能画像を用いて、ALOS-3の仕様値に基づき大気劣化、量子化、MTF、SNR、圧縮、姿勢変動成分を付加し、作成しています。(第2回利用ワークショップ発表資料参照)
本画像の作成範囲は航空機の写真画像の範囲であるため、ALOS-3の標準プロダクトと同様の観測範囲ではなく、幾何情報は付加されていないのでご注意ください。また、データはバンクロとマルチバンド (RGB) の4ファイルとなります。

2014年8月28日 広島県広島市付近

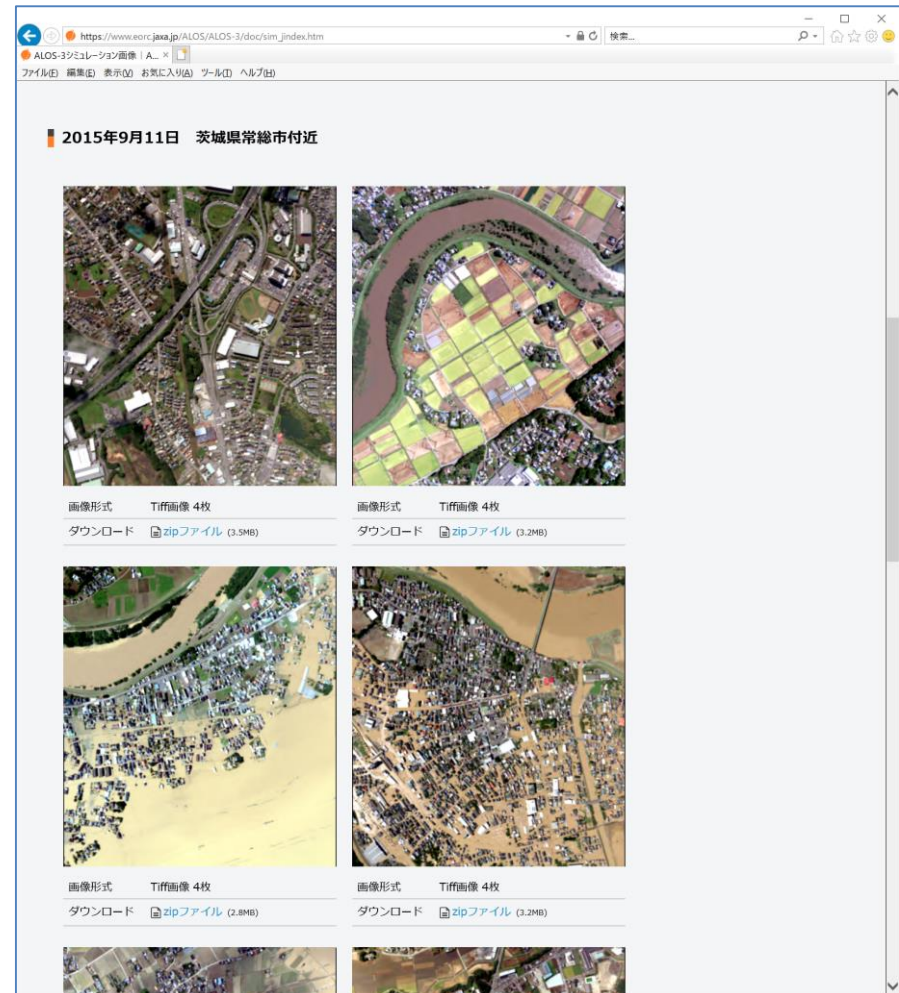


画像形式 Tiff画像 4枚
ダウンロード [zipファイル \(622KB\)](#)




画像形式 Tiff画像 4枚
ダウンロード [zipファイル \(621KB\)](#)


2015年9月11日 茨城県常総市付近




2015年9月11日 茨城県常総市付近




画像形式 Tiff画像 4枚
ダウンロード [zipファイル \(3.5MB\)](#)




画像形式 Tiff画像 4枚
ダウンロード [zipファイル \(3.2MB\)](#)




画像形式 Tiff画像 4枚
ダウンロード [zipファイル \(2.8MB\)](#)



画像形式 Tiff画像 4枚
ダウンロード [zipファイル \(3.2MB\)](#)





【話題提供サマリ+議論】

1. JAXAからALOS-3(先進光学衛星)のミッション, 主要諸元, フライトモデル開発状況, 基本観測計画の考え方の最新状況, 活用想定一例として防災利用実証の概要について紹介した.

✓ もっと使いたくなるためには何が足りないか? どうすればよいか?

→ 基本観測計画にもとづくベースマップ観測・整備 → アーカイブの利活用

✓ ベースマップをいかに活用できるかが重要

✓ 海外展開が不可欠

2-1. 地理空間情報の整備・更新 ~基盤地図情報整備の海外展開に向けて~

✓ ALOSよりも「より詳細」「より広範囲」「より高頻度」のため, 地図修正の活用範囲は広がると見込まれる. →**海外展開への期待**

✓ 打上げ後の検証作業を通して, ALOS-3画像がどこまで地図修正に活用可能かを明らかにしたい →**多時期変化抽出(アーカイブの利用)**

✓ 図化のためステレオ観測にも期待. 頻度が下がることは理解. 立体視はAlong track方式かCross track方式かどちらがよいか検証したい.

【話題提供サマリ+議論】

2-2. 防災・災害利用 ～意思決定への貢献に向けて～

- ✓ 状況把握:衛星, 空撮, UAV, 地上の役割分担. 「より早く」が重要
- ✓ 高分解能での撮影, 広域撮影→解析の高度化, 自動化へ期待
 - ・課題:体制の構築, 強化
- ✓ 災害対応従事者の保有する情報(人口, 建物, 設備等)と組み合わせ解析の発展により防災現場での利用がより一層進むことを期待
- ✓ 防衛用地図の作成等, 地理空間情報整備における衛星画像の活用検討(研究)及び被災前との比較(アーカイブ利用)⇒平素からの衛星画像利用に要望(枠組構築)
- ✓ 復旧状況の確認及び2次災害防止⇒災害派遣活動終了までの定点観測結果の提供
- ✓ 各種災害の特性に応じた付加価値情報が付加された画像分析情報の迅速な提供
- ✓ 山地の崩壊, 風倒被害がより明確に判読(専門知識が少なくとも把握)できる情報をご提供頂けると災害時初動対応のスピードアップ化が一層進展. 防災林の監視
 - ①ヘリ調査ルート of 効率的選定(自治体と連携)
 - ②職員の現地配置計画の決定
 - ③被害規模(オーダー感)の早期把握

【話題提供サマリ+議論】

2-3. 実利用に向けて

- ✓ 先進光学衛星は森林情報を見える化でき、森林資源の基本情報把握とデータ更新、レーザデータとの複合利用. Ex) 単木樹種分類, 松くい虫被害(アカマツ健全性)
- ✓ 森林は広い面積なので衛星利用は最適. 航空機ライダー, UAV複合利用
- ✓ スマート林業から「成長産業」へ
- ✓ 陸域生態系: 気候変動へのインパクト, REDD+, FE, SDGs等 →AFOLUが重要で海外展開が必須の課題. ALOS-3の基本観測・アーカイブ利用に期待
- ✓ データフュージョン: ALOS-3 with ALOS-2/-4, GCOM-C, MOLI, HISUI and/or 地上観測
- ✓ 環境省植生図への利用: 高精度なレベル3植生図, 高分解能化. 地形データ組合せ
 - ・課題: データ量増大化への対応. 計算機環境
- ✓ 筆ポリゴンデータの更新: コスト抑制かつ高頻度更新に期待. 作付状況の把握手法の確立に向けて, 今後, 活用可能性を検討・実証等を進める.
- ✓ 農業DX(農業現場と農業政策のデジタル・トランスフォーメーション)の実現に向けて.
- ✓ 沿岸観測: ALOS-3マルチに期待. 年2-3回の観測. (黄バンドも有効か?)
 - ・課題: 水質等に依存. 手法のマニュアル化, ガイドラインの策定など

【話題提供サマリ+議論】

3. 民間利用の促進

- ✓ 衛星データ活用の認知・理解不足
- ✓ 明確な結果を提供するサービス不足
- ✓ 衛星データでできることの限界: 他データ, 情報との複合利用
→ サプライチェーンを構築していく
- サードパーティでのデータ活用方法の構築: 地方自治体での利用等
- JAXAからユーザへの要望: ぜひ活用の準備を進めて頂きたい.
- 基本観測計画にもとづくベースマップ観測・整備 → アーカイブの活用方法は要検討
- 他衛星等との複合利用: SAR/光学, 小型衛星, 物理量, UAV, 地上観測, 数値モデル...
- 観測頻度・タイミングに対する要望, プロダクトに対する要望
 - ✓ 観測デューティ10分の制約: D/L. 20分程度はほしい(次期衛星に対するコメント)
- 衛星の継続性

多数のALOS-3ユーザおよびデータに関心をお持ちの皆様にALOS-3の開発状況やデータ配布スキーム、配布予定価格帯を提示できたこと、また多くのユーザ殿からALOS-3データへの強い期待を伺えたことから、打上げ前の利用ワークショップとしては一定の成果が得られ、その役割を果たしたものと考える。参加の皆様におかれましては、引き続きALOS-3データの利活用にご協力を賜りたい。